

キクアザミ

Saussurea ussuriensis Maxim.

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由	本県の生育地は散在していて個体数は少ない。草原や林縁に生えるため、植林や野焼きの停止などによる生育環境の悪化で、生育地の減少や消滅が懸念される。
県内分布	由布・鶴見火山群，別府湾沿岸域，大分川・大野川丘陵地，豊後水道後背地域，大野川上流域
分布域	本州 九州(大分) 朝鮮半島 中国(北部 東北部) ,ウスリー
生育環境	丘陵地や低山地の草原や林縁。
現 状	生育地は散在しているが，いずれも生育範囲は狭く，植生遷移の進行により衰退した生育地がみられる。
備 考	大陸系遺存植物。本県は，分布の南限域にあたる。国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう]

コウリンギク

Senecio argunensis Turcz.

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 IA

選定理由	県内で確認されている生育地は極めて希で，個体数も僅少。生育地一帯は放牧地として利用され，道路にも接しているため，攪乱され，あるいは採取されて，絶滅の危険性が極めて高い。
県内分布	玖珠丘陵地・山地，(由布・鶴見火山群)
分布域	九州(大分) 朝鮮半島 中国(東北部) ,ダフリア
生育環境	丘陵地の草原。
現 状	生育地は河川沿いの草原で，毎年野焼きされる。生育範囲は極めて狭く，辛うじて生育を維持している。「九重火山群」はすでに消滅した模様。「由布・鶴見火山群」の標本はあるが，その生育地は把握されていない。
備 考	大陸系遺存植物。国内では，本県だけに分布する。

タカネコウリンギク

Senecio flammeus

Turcz. ex DC.

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 IB

選定理由	県内では火山性高原の草原や山頂帯の風衝地に点在し，個体数は僅少。生育地は高原の各種開発で消滅しており，絶滅の危険性が高くなっている。
県内分布	津江山地，玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，祖母・傾山地
分布域	九州(熊本・大分) 朝鮮半島 中国(北部・東北部) ,ダフリア
生育環境	火山性高原や山頂帯の風衝地草原。
現 状	高原の生育地では，植林や人工牧野，ゴルフ場などの土地改変で消滅した所がある。
備 考	大陸系遺存植物。九州は，分布の南限域にあたる。